

## 船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第79号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成21年4月4日（土） 10時30分ごろ	
発生場所	静岡県稲取漁港南防波堤灯台から真方位064° 1,500m付近 (概位 北緯34° 46.7′ 東経139° 03.5′)	
事故等調査の経過	平成21年4月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート ゴールドアイズ 5トン未満（長さ4.64m）	
船舶番号、船舶所有者等	241-14569静岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	スパンカーの支柱曲損、船外機水没、バッテリー水没	
事故等の経過	<p>本船は、救命胴衣を着用して船長ほか2人が乗り組み、稲取港の東北東方約1,500mのところ、船首が東方から北東方に向いたとき、南西方からの風浪を船尾に受ける状況となり、船尾から波が打ち込み始めたことから、稲取港に向けて走り出した。</p> <p>船長は、船尾両舷の排水口の栓を閉めなかったため、本船の船尾が沈下して、海水が排水口から船内に逆流する状態となり、同乗者がバケツで海水を汲み出したものの、右舷側に多量の海水が滞留するようになり、平成21年4月4日10時30分ごろ、稲取漁港南防波堤灯台東北東方沖において、本船は右舷側に転覆した。</p> <p>本船に乗っていた3人は、その後、船体とともに漂流しているところを漁船に救助された。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約5m/s 海象：波高 約0.8m 潮汐 上げ潮の中央期 流向 南西向きの流れ	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり あり 本船は、稲取漁港南防波堤灯台東北東方沖を航行中、船尾から波が打ち込むとともに、排水口からの逆流で多量の海水が右舷側に滞留して転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が稲取漁港南防波堤灯台東北東方沖を航行中、船尾から波が打ち込むとともに、排水口から海水が逆流して多量の海水が右舷側に滞留したため、転覆したことにより発生したものと考えられる。	